

Jリーグ「ツエーゲン金沢」の社会連携事業「シャレン！」での共同事業

団体名 ● 地域スポーツマネジメント研究室 / 代表者名 ● 西村貴之(人間科学部スポーツ学科准教授)

はじめに

日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)は「世界でいちばん地域を愛するプロサッカーリーグになりたい」をコンセプトに、Jリーグ社会連携活動(通称「シャレン！」)の取組みを2018年から推進している。「シャレン！」は社会課題や共通のテーマ(教育、ダイバーシティ、まちづくり、健康、世代間交流など)に地域住民、企業や団体、自治体、学校などとJリーグ、Jクラブが連携して取り組む活動と説明されている(Jリーグwebサイトより)。

石川県をホームタウンとするJクラブ「ツエーゲン金沢」はコロナ禍における需要過多により、食料品の在庫不足に困窮するフードバンクの現状を知り、クラブから特定非営利活動法人いしかわフードバンク・ネットへの食料品寄贈を2020年4月末に実施した。その後、クラブのこの取組み趣旨に賛同した選手有志やクラブパートナー企業を巻き込む形で食料品寄贈の動きが広がっていた。

時期を同じくして、共同プロジェクトの構築を模索していた本研究室所属学生とツエーゲン金沢担当スタッフとの協議の中から、広がりつつある支援の輪をさらに広げるとともに、支援を必要としている子どもたちを取り巻く環境についての理解を深め、子どもたちの未来について考える機会を創出すべく、共同事業を企画・立案・実施する運びとなった。

活動内容

日時：2020年11月1日(日)ホームゲーム

VS ギラヴァンツ北九州戦

場所：石川県西部緑地公園陸上競技場

参加：本研究室所属スポーツ学科3、4年生 18名

フィールド基礎演習を受講するスポーツ学科2年生 15名

内容：①ひとり親家庭を対象とした試合観戦ツアー(試合前ピッチでのスポーツ体験会、スタジアムグルメ割引券、試合観戦で使用する応援グッズ、選手サイン色紙のプレゼントを含む)

②フードドライブ(家庭で余っている食品を持ち寄り、それらをまとめて福祉団体等に提供する活動)

③「子どもの未来を応援する活動」啓発ブース以上①～③の活動について、企画段階からクラブ担当者と学生達が関係各所との調整を含めた準備を行うとともに、当日の運営を共同で実施した。



スポーツ体験会



スポーツ体験会



フードドライブ



啓発ブース

成果、結果の考察

クラブ担当者からは「やりたいと思っていても、マンパワー不足等により、クラブ単体では着手できないでいたことが実現できた」という声があった。また、参加保護者の方からは「こどもがとても喜んだ」と感謝のメールが届いた。さらに、学生達にとっても、自分達が考案した企画をクラブ関係者と協議しながら形にし、それを実践するという一連のプロセスを経験することは地域スポーツマネジメントを実践的に学ぶ貴重な機会となっていた。

今後の課題、展望

関係各所との対話をつづけ、より良いプロジェクトのあり方にむけた設計の改善と継続実施に取り組んでいきたい。